

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

AI（人工知能）画像診断装置を用いた歯科インプラント体鑑別システムの構築

1. 研究の対象および研究対象期間

2018年4月～2020年4月に昭和大学歯科病院インプラントセンターにおいてインプラント治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

インプラント治療後に、別の医療機関にてそのインプラントの治療を行う場合は、インプラントのメーカーや種類の特定制が必要になります。このような場合、従来ではレントゲン撮影を行い、メーカーへの問い合わせや担当医の経験によりメーカーや種類を鑑別し、対応させていただいておりました。しかし、この方法は多くの時間がかかることや担当医によりインプラントの種類を鑑別精度が異なるというデメリットがあります。このインプラントの判別にAIを用いて画像診断を行うことで、より短時間に正確にインプラントの鑑別ができるようになることが予想されます。そして、AIによるインプラントの鑑別が可能になることで、他院で埋入されたインプラントの再治療のハードルを下げ、患者様に大きなメリットをもたらすものと考えます。そこで、本研究では、すでにインプラント治療を受けられた方のレントゲン写真とインプラントのメーカーと種類の情報を使用させていただきます。AIにインプラント治療後のレントゲンを読み込ませることで、インプラントの鑑別ができるようになることを目的としております。

本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反（conflict of interest）はありません。利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人との関係を含むものです。本研究は、昭和大学歯学部インプラント歯科学講座が計画し講座研究費にて実施する自主臨床研究であり、製薬会社をはじめ他の団体からの資金的援助に基づいて行われるものではありません。

研究期間

「昭和大学歯科病院 臨床試験審査委員会」承認後、昭和大学歯科病院院長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：インプラント治療終了後のレントゲン写真

インプラント治療に用いたインプラントのメーカーと種類（直径・長さ・形態）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学歯学部インプラント歯科学講座 助教 氏名：林 泰生

住所：145-8515 東京都大田区北千束 2-1-1

電話番号：03-3787-1151（内線 330）平日 9時～19時

研究責任者 昭和大学歯学部インプラント歯科学講座 准教授 宗像 源博